

MITSUBISHI

三菱空冷式コンデンシングユニット

取扱説明書

M7A-S04L(A)T・S06・S08・S11L(A)(T)

ERR-22・30・37・45・55・75・110・150P

ERR-Z15・Z22・Z30・Z37・Z45・Z55・Z75

ESR-75・110・150・220

ESR-Z110・Z150・Z185・Z225

ECR-1100・1850・2250・2600

ECR-T900・T1250・T1700・T2400・T2800・T3350

E7R-55・75・110・150UP

安全のために必ず守ること…1・2

各部のなまえ……………3

運転前の準備……………4

ご使用方法……………4

お手入れのしかた……………4

保証とアフターサービス……………5

警報装置の設置のすすめ……………5

このたびは三菱電機コンデンシングユニットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- お客様ご自身では、据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)

安全のために必ず守ること

- ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	電源は必ず切ってから行ってください。
	触れたり、指や棒を入れないでください。

- お読みになった後は、据付説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

❶ お客さま自身で据付けはしない。

- 据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ、不備があると水漏れや感電・火災・ケガの原因となります。

❷ 電源コードを傷つけたり・引張ったりしない。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、引張ったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

❸ アース工事を行う。

- アース工事を行なってください。
アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

❹ お客さま自身で移設しない。

- 移設は、販売店または、専門業者にご相談ください。
据え付け不備があると水漏れ、感電・火災等の原因になります。

❺ 屋外や湿気の多い場所では使用しない。

- 雨水のかかる場所でご使用されますと、漏電・感電の原因になります。
- 湿気の多い所や・水のかかり易い場所に据え付けしないでください。発火や感電の原因になります。

❻ お客さま自身で修理しない。

- 販売店または専門業者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行なわないでください。分解、修理・改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。

❼ コンデンスユニットを水洗いしない

- コンデンスユニットに直接水をかけたり、しないでください。ショート・感電の原因となります。

❽ 異常時は運転を停止して、電源を切る。

- 異常時は運転を停止して電源プラグを抜くか、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

❾ 吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

- 内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。

安全のために必ず守ること

△注意

⊖濡れた手でスイッチや電気部品に触れない。

- 濡れた手でスイッチや電気部品には、触れないでください。触れますと感電の原因になることがあります。

⊖フィンに手を触れない。

- 掃除をする時には、フィンに直接手を触れないでください。ケガの原因になることがあります。

⊖ユニットの上に乗ったり、ものを載せない。

- 落下・転倒によるケガの原因になることがあります。
- 機械部にものを乗せたり、手を入れたりしないでください。内部でファンが高速回転していますので発熱やケガの原因になることがあります。

❗取扱者以外の人が操作しないように保護する。

- 取扱者以外の人が触れないような表示をするか、触れるおそれのあるときは、保護柵などでユニットを囲ってください。誤使用が原因でケガをすることがあります。

⊖可燃性スプレーを近くで使用したり、可燃物を置かない。

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

⊖配管や配線に触れない。

- 露出している配管や配線に触れないでください。火傷や感電の原因になることがあります。

⊖長期間使用しない時は、電源を切る。

- 長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源を切ってください。

❗据え付け台などが傷んだ状態で放置しない。

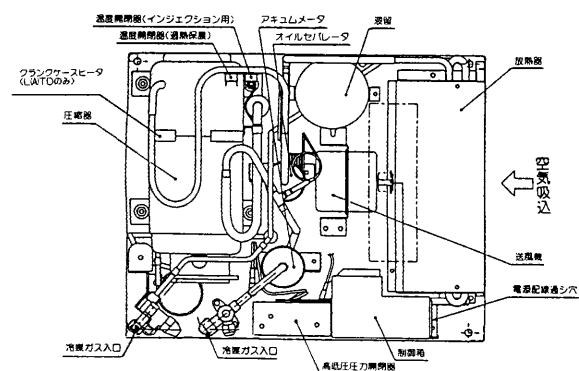
- 長期使用で据え付け台などが傷んでないか定期的に点検してください。傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になることがあります。

⊖掃除のときは、必ず運転を停止し、電源を切る。

- 掃除をするときや、整備・点検のとき、必ず運転を停止させ、電源を切ってください。ファンによる感電の原因になることがあります。

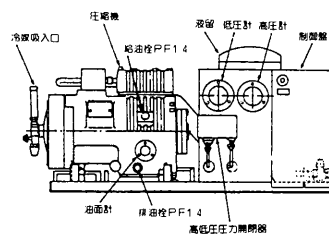
各部のなまえ

(1)M7A-S04LAT・S06・S08・S11L(A)(T)

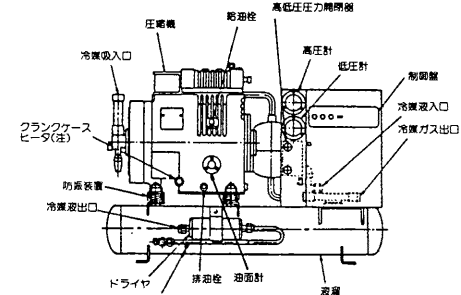


本図は代表機種を記載していますので、
細部において実際と異なる場合があります。

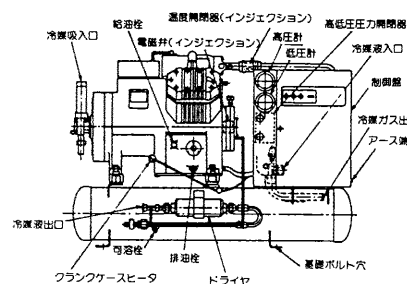
(2)ERR-22P



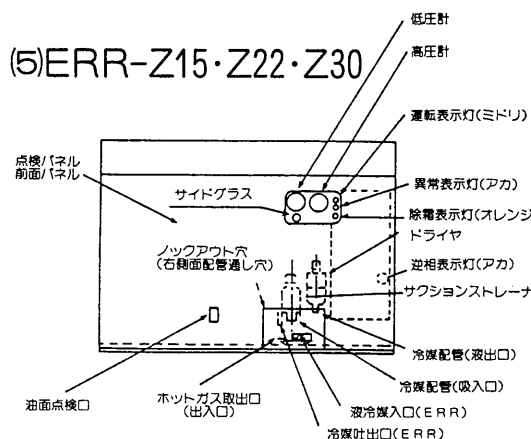
(3)ERR-30・37・45・55・75P



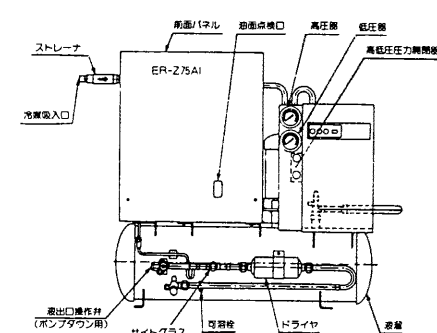
(4)ERR-110・150P



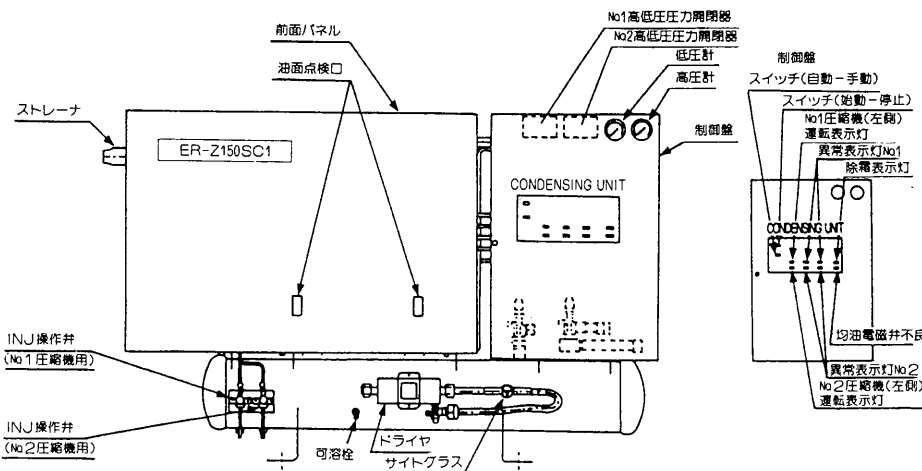
(5)ERR-Z15・Z22・Z30



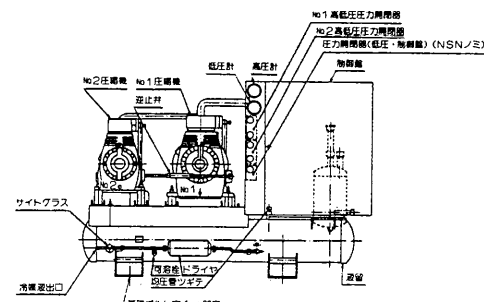
(6)ERR-Z37・Z45・Z55・Z75



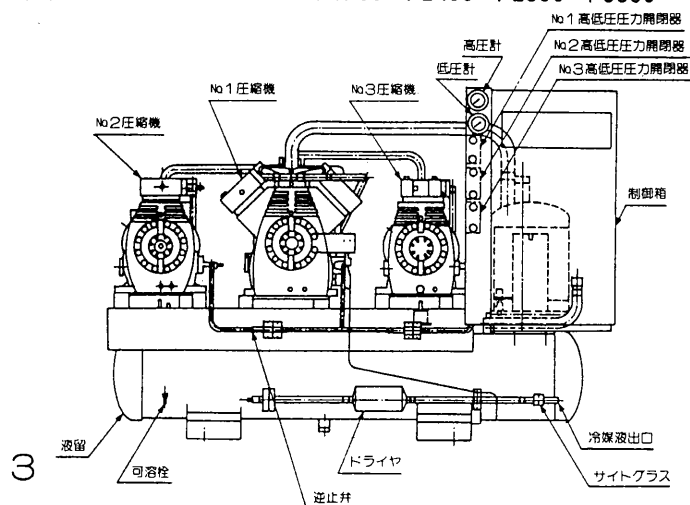
(7)ESR-Z110・Z150・Z185・Z225



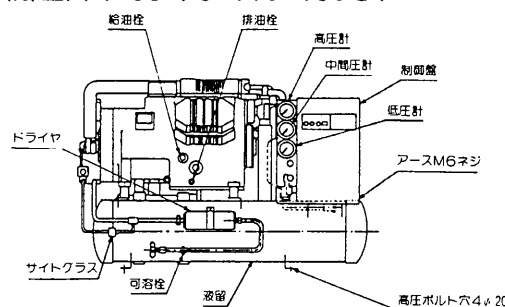
(8)ECR-1100・1850・2250・2600



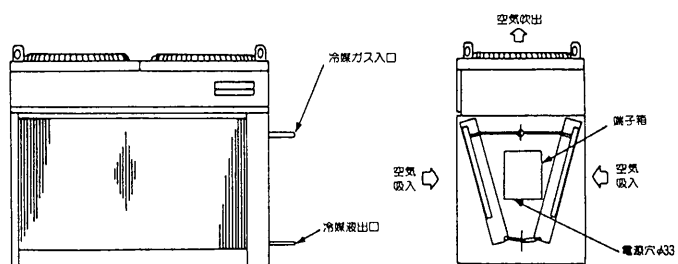
(9)ECR-T900・T1250・T1700・T2400・T2800・T3350



(10)E7R-55・75・110・150UP



(11)RM-22・30・37・45・55・75・92・110・150
(12)~(10)のリモートコンデンサ



運転前の準備

クランクケースヒータの通電〈M7A-S04LATは除く〉

潤滑油のフォーミング(泡立ち)防止用クランクケースヒータは圧縮機停止時のみ通電します。
半日以上電源停止した後再運転する場合には始動前に少なくとも3時間は通電し、潤滑油を加熱してください。

ご使用方法

ユニットのご使用方法是、施工されました販売店の取扱説明書にもとづいて行なってください。

お手入れのしかた

△注意

- お手入れするときは、必ず運転を停止させ電源を切ってください。感電の原因になることがあります。

キャビネット

- 乾いた柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。

放熱器

- 放熱器が汚れますと熱交換が悪くなり、冷却能力が低下しますので定期的な洗浄が必要です。洗浄の際は、販売店にご相談願います。

保証とアフターサービス

1 無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め1年間としますが無償にて支給するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし2項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

2 保証できない範囲

- 天災、火災による事故
- ユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の2次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。

万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し運転スイッチを切り、お買い求めの販売店へご連絡ください。

ご連絡の場合は、つぎの3点をハッキリお示してください。

1. 形名(例：コンデンシングユニット：ERR-22PBG — 定格名板に記載してあります。
2. 製造番号
3. 故障内容(できるだけくわしく)

警報装置の設置のすすめ

保護回路が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。万一、運転が停止した場合に処置が早くできます。

■設備工事業者

■担当サービス会社

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

本 社	東京都千代田区大手町2-2-2<日本ビル>……………☎100	03-3279-8090……………大代表
北 海 道 支 社	札幌市白石区本通20丁目南4-2……………☎003	011-862-0082……………代表
東 北 支 社	仙台市青葉区大町1-1-30<新仙台ビル>……………☎980	022-224-1222……………代表
東 京 支 社	東京都港区芝公園2-4-1<秀和芝パークビル>……………☎105	03-5470-2805……………代表
北 関 東 支 社	大宮市大門町3-197<星野第2ビル>……………☎330	048-641-3328……………代表
東 関 東 支 社	千葉市中央区栄町36-10<住友商事ビル>……………☎260	043-225-3828……………代表
横 浜 支 社	横浜西区みなとみらい2-2-1<横浜ランドマークタワー14F>……………☎220-81	045-224-2052……………代表
北 陸 支 社	富山市総曲輪1-5-24<日本生命富山ビル>……………☎930	0764-32-0048……………代表
中 部 支 社	名古屋市中区栄4-1-1<中日ビル>……………☎460	052-263-7635……………代表
大 阪 支 社	大阪市北区梅田2-5-2<新サンケイビル>……………☎530	06-344-1197……………代表
中 国 支 社	広島市中区中町7-22<住友生命平和大通りビル>……………☎730	082-248-2897……………直通
四 国 支 社	高松市番町1-6-1<住友生命高松ビル>……………☎760	0878-22-6063……………代表
九 州 支 社	福岡市博多区博多駅前2-1-1<福岡朝日ビル>……………☎812	092-474-8241……………代表

三菱電機株式会社

本社産業冷熱営業部	東京都港区赤坂5-2-20<赤坂パークビル>……………☎107	03-5573-3691……………直通
北海道支社冷熱住設課	札幌市中央区北二条西4-1<北海道ビル>……………☎060-91	011-212-3735……………直通
東北支社冷熱住設課	仙台市青葉区上杉1-17-7<三菱電機・明治生命仙台ビル>……………☎980	022-216-4612……………直通
新潟支社冷熱住設課	新潟市東大通2-4-10<日本生命ビル>……………☎950	025-241-7224……………直通
北関東支社冷熱住設課	大宮市大成町4-298……………☎331	048-653-0251……………直通
東関東支社冷熱住設課	千葉市中央区新千葉2-7-2<大宗センタービル>……………☎260	043-241-8432……………直通
神奈川支社冷熱住設課	横浜西区みなとみらい2-2-1<横浜ランドマークタワー>……………☎220-81	045-224-2621……………直通
北陸支社冷熱住設課	金沢市広岡町3-1-1<金沢パークビル>……………☎920	0762-33-5503……………直通
中部支社冷熱住設部	名古屋市中村区名駅3-28-12<大名古屋ビル>……………☎450	052-565-3221……………直通
関西支社冷熱住設部	大阪市北区堂島2-2-2<近鉄堂島ビル>……………☎530	06-347-2341……………直通
中国支社冷熱住設部	広島市中区中町7-32<日本生命ビル>……………☎730	082-248-5411……………直通
四国支社冷熱住設部	高松市寿町1-1-8<日本生命高松駅前ビル>……………☎760	0878-25-0066……………直通
九州支社冷熱住設部	福岡市中央区天神2-12-1<天神ビル>……………☎810	092-721-2190……………直通



〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3<三菱電機ビル>